

使用機種：EB-PU1007W×3台、ELPLX01WS×3台

用途：プロジェクションマッピングを用いたイマーシブルーム

キナーキッズインターナショナルアカデミー世田谷校

所在地：東京都世田谷区桜新町1-2-5 最寄駅：東急田園都市線 桜新町駅 徒歩8分  
ホームページ：<https://www.kinderkids.com/school/setagaya/>

キナーキッズは、2000年に大阪で創立された「日本に暮らす子ども達のためのインターナショナルスクール」。現在では関西、関東、中京、九州の全国各地、さらにはカナダやハワイにも展開。2024年1月、世田谷校の開校に合わせ、エプソン製プロジェクターを用いた「イマーシブルーム」が設置された。その導入背景と効果について、同校のWayne KimさんとIlan Vadasさんにお話を伺った。



型番：EB-PU1007W

価格：オープンプライス 明るさ：7,000lm スクリーン解像度：4K<sup>(注)</sup>

(注)シフト技術を採用した4K相当の解像度となります。



#### Before 導入課題

- 屋内にいながら、屋外同様の体験ができるようにしたい
- 子どもたちが安全且つ自由に動ける、広い室内スペースを確保したい
- 映像を明るく色鮮やかに投写したい

#### After 導入効果

- 3面の等身大プロジェクションによって、臨場感のある映像体験を実現
- 天吊りでの設置と超短焦点ゼロオフセットレンズの採用により、省スペースで大画面を実現。障害物のない広い床面を確保
- レーザー光源と3LCD方式採用で、明るく色鮮やかな映像表現が可能

同校のイマーシブルームでは、部屋の3つの壁面に対して、3台のプロジェクターを用いて投写している。2024年2月時点でのコンテンツは、キナーキッズ独自の絵本やキャラクターを用いたアニメーションなどで、プロジェクションマッピングすることにより、没入感のある映像体験ができる。特に子どもたちの低めの視点では、より迫力が増して感じられる。

## 「本などの教材だけでは得られない、双方向的な学習が可能になりました」

### 導入背景

コロナ禍をきっかけに、屋内で遠足などと同様の体感ができないかを検討

キナーキッズは、「日本の心と英語の力」を理念に掲げるインターナショナルスクールです。当校では、英語教育に加え、日本文化の学習にも注力しています。この二つの教育目標を達成するためには、時代に即した進化が必要不可欠です。特に、コロナ禍での外出制限は私たちに難しい課題を突きつけ、新しい学習方法を探索する機会となりました。園外学習

が難しくなったことを受けて、プロジェクションマッピングを用いたイマーシブルームのアイデアが誕生しました。この技術を利用することで、園内でカナダのナイアガラの滝探索、宇宙旅行、恐竜時代の冒険など、無限の体験が可能になるのです。検討の結果、2024年1月開校の世田谷校に専用の部屋とプロジェクターを導入することと致しました。



株式会社キナーキッズ  
会長  
Wayne Kimさん



株式会社キナーキッズ  
技術開発  
Ilan Vadasさん



世田谷校では、クラスや使用目的ごとのスペースを配置（写真・左上）。地下にはシアター（イマーシブルーム）のほか、運動するためのジムなどもある（同・左）。屋上には遊具を備えた広い園庭を用意（同・上）。日々の生活や学習、運動が過不足なく行えるように配慮された設計になっている。その中でもイマーシブルームは、特徴的な施設の1つだ。

## 選定理由 天井から壁面全体に投写できて、広い床面が確保できることが選定の決め手

導入検討時、私たちはプロジェクターについて詳しくなく、手始めに家電量販店を見て回りました。そこでは、エプソンのEH-LS800という家庭用の超短焦点モデルを紹介されました。このモデルは、機能的には正解でしたが、プロジェクションマッピングのためにより大きな壁面に投

写する必要があったのと、天井から投写して、より広いスペースを確保したいとも考えていたため、ビジネス用の超短焦点モデルが必要だという結論に至りました。他社製品も調査しましたが、エプソンが提供する製品とサポートが私たちにとって最適でした。



レーザー光源で、7000lmと明るく低発熱な高輝度モデル3台を用い、明るいプロジェクションマッピングを実現(写真・左)。超短焦点ゼロオフセットレンズ使用で、壁面全体に対して欠けることなく投写している(同・中央)。パソコンと映像合成装置、オーディオアンプのシンプルな構成で運用も容易(同・右)。

## 導入効果 子どもたちの教育だけでなく、新人の先生のトレーニングにも役立っています

従来、子どもたちの学習資料は本の中の写真やイラストに限られていましたが、イマーシブルームの導入により、キャラクターや動物の動きを目の当たりにし、声や音も体験できるようになりました。これがきっかけで、「あれはティラノサウルスだ!」などの会話が友だちや先生と自然に生まれ、英語学習へとつながります。また、この映像を利用したコミュニケーションは、新人の先生にとっても教え方を学ぶ絶好の機会となります。

映像に登場する先生と実際の先生が対話しながら指導するトレーニングプログラムも用意しています。開校してから間もないため、保護者や子どもたちからの直接的なフィードバックはまだですが、関心の高さと子どもたちの反応も良好です。私たちは、新しいコンテンツを制作中で、完成後は保護者の皆様にもお見せし、ご意見を伺う予定です。



イマーシブルームは保護者説明会にも用いられ、プレゼンテーションにプロジェクターが活躍。「説明会だけでなく、この設備も保護者の関心を集めていました」とWayneさん。



コンテンツは、上のような従来からの教材を映像化することから始めているという。制作ベースは月に1本程度で、社内制作できる体制が整っているとのこと。

## 今後の展望 システムをほかの園舎にも広めつつ、インタラクティブ性の向上などを図りたい

今後の展望については、まずコンテンツの充実を図りつつ、イマーシブルームを他の園舎にも導入していくことを考えています。コンテンツはオンラインで配信可能なので、より多くの子どもたちが新たな体験や楽しみを得られるようになります。提供予定のコンテンツには、学習教材をインタラクティブに体験できるものや、ヨガのように体を動かして楽しめるアクティビティも含まれます。中長期的な展望では、現在の

3面の壁への映像投影に加え、天井や机上への投影、センサーや対話型AIを活用したインタラクティブ性の向上、立体映像の導入などが挙げられます。

私たちは先端技術の積極的な導入を進める一方で、野外活動の価値も重視しており、テクノロジーと野外活動のバランスを取りながら、子どもたちにとってさらに充実したインターナショナルスクールを目指します。

導入の  
ポイント  
機能



レーザー光源がもたらす  
明るさと高コントラスト



3LCD方式ならではの  
色再現性と明るいカラー

全白  
7000lm  
カラー  
7000lm

超短焦点  
ゼロ  
オフセット  
レンズ

影がでにくく  
眩しくない

全方位  
360°  
設置

天井や床などへの  
投写縦長での投写が可能

お問い  
合わせ

プロジェクターインフォメーションセンター  
050-3155-7010

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします 受付:月～土曜日(祝日・弊社指定休日を除く。詳しくはホームページをご覧ください)  
\*左記電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用していただきます。\*左記番号がご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTT東日本、NTT西日本の固定電話(一般回線)からおかけいただくか、042-503-1969までおかけ直してください。